

研修報告

目的

FMが今なぜ必要なの？

総務産業建設 常任委員会

(8月18日～19日)

・FMとは、ファシリテイ
マネジメントのこと。

・意味は

土地・建物・設備といっ
たファシリテイを対象と
して経営的な視点から設
備投資や管理運営を行
い、施設に係る経費の最
小化や施設効用の最大化
を図る経営管理手法のこ
とをいう。

少子高齢化・人口減少
の時代を迎え、行政には
将来を見据え老朽化した
公共施設をどう運営する
のか、維持か、解体か、統
合かを問い直すことが迫
られている。

その方針を10年前から
先進的に進めてきた2市
を訪問し、その手法は対

照的で特徴的な相違点
はあるが、大きな成果を出
している活動について学
ぶことができた。

1日目

●研修地

千葉県佐倉市

●研修内容

平成20年9月にFM推
進基本方針を作成してい
る。

特徴的な事は、ファシ
リテイ情報の一元化及び
共有化。

縦割り行政を横断的に
つなぐ専門部を作ったこ
とである。

①小学校の事例では、水
道料金のばらつきに注
目し、地道な濾水調査
で補修工事、男子トイ
レハイタンクの流量調
整で年間1300万円
の削減。

②消防署は不要階の減築
により耐震性を保ち
6億4千万の工事費を
減額。

③ESCO事業の導入効
果の見える化で228
%の達成率を上げる。

2日目

●研修地

東京都武蔵野市

●研修内容

平成27年度、経常収支
比率80.8%、財政指数
1.47でいわゆる不交付
の優良団体。

社会環境の変化に早く
から対応「計画的施設整
備」の導入に組みその
ベースに公共FMが取り
入れられた。

既存の建物の量より質
の見直しから始め劣化保
全整備に力を入れ、道連
れ工事という考え方も導
入している。

二度手間にならないよ
うな関連工事も続いて行
うなど、優れたコスト計
算のもと地道なデータ集
積と情報のチェックによ
りFMを実施している。

先進的なFMの取組みに思わず「スゴイ！」
(佐倉市)



目的

**幼保連携・放課後児童健全
育成事業の先進地の事例を学ぶ**

文教厚生 常任委員会

(7月31日～8月1日)

1日目

●研修地

神奈川県横浜市

●研修内容

横浜市の民間「ゆうゆ
うのもり幼保園」では、
平成17年開園2年後に認
定こども園となり204
名の園児がいる。

同市では待機児童をゼ
ロにするため、毎年約40
箇所の施設を作っている。

この園では、理事長の
母親から貴重なノウハウ
が受け継がれており、そ
れを土台に計算された新
たな試みを展開している。

この継続された経験や
知識をもって、事業にあ
たる重要性を改めて感じ
た。

また、躰や優しさは園
児が自発的に、身につく
よう工夫して指導してい
ると聞いた。

また、保護者同士の意
思疎通や活動の拠点とな
る場所を休日を含め常時
解放しており、地域に開
かれた施設になっている。

2日目

●研修地

神奈川県二宮町

●研修内容

二宮小学校放課後児童
クラブは、28年まで保
護者会が行う公設民営の形
であったが、保護者の負
担が大きいので民営委託
となった。

場所は小学校の空き教
室を利用しているため、
児童の移動が容易であり
利便性が良く、防犯・防
災上も有利と感じた。

夏休み中は女子高生
(OG)なども参加してい
て、和やかな雰囲気を感じ
られた。

また、中古の座卓が多
く用いられており、費用
がいらす、良いアイデア
だと感じた。